

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会

第4回認知症対策部会 会議録

開催日時	平成30年3月16日（金） 午後2時30分～午後4時00分
開催場所	生駒メディカルセンター3階 研修室
出席者 （委員）	山上部会長、中溝副部会長、徐委員、茨木委員、喜多委員、湯川委員、吉村委員
出席者 （その他）	
欠席者	川田委員、今西委員
事務局	影林福祉健康部長、田中地域包括ケア推進課長、渋谷地域包括ケア推進課係長、田村地域包括ケア推進課係員
傍聴	なし
案件	(1) 認知症初期集中支援事業の平成29年度活動報告について (2) 認知症対策部会平成29年度活動報告書（案）について (3) 認知症対策部会平成30年度の計画（案）について (4) その他
資料	平成29年度 第4回認知症対策部会 会議次第 資料1 認知症初期集中支援事業活動事例 資料2 認知症対策部会平成29年度活動報告書（案） 資料3 認知症対策部会平成30年度スケジュール（案）
<b>議 事 の 経 過</b>	
<b>発 言 者</b>	<b>発 言 内 容</b>
事務局 部会長 事務局	<p>1 開会 2 案件 案件(1) 認知症初期集中支援事業の平成29年度活動報告について</p> <p>（資料1に基づき説明）</p> <p>今年度は1例だけでしたか。</p> <p>夫婦ともに関わりましたので、2人となります。 認知症地域支援推進員が専従で地域包括支援センターに配置されているため、頻回に訪問してくれ、本人家族との関係も築きやすい状態です。物忘れ相談事業なども活用しながら受診につなげてくれているという感じですか。 認知症地域支援推進員については、平成30年度も各地域包括支援センター</p>

	<p>に配置できるように予算を確保しています。まだ配置できていないところも広報を活用して公募するなど努力していただいている。</p>
部会長	<p>認知症地域支援推進員になるには資格は必要ですか。</p>
事務局	<p>認知症の対応ができる人。必ず必要としている資格はありません。社会福祉士、保健師等、介護支援専門員、精神保健福祉士など、認知症対応の経験がある人としています。</p>
部会長	<p>認知症対応の経験があれば良いのですね。</p>
事務局	<p>講習は受けていただいています。</p>
部会長	<p>ふらっと立ち寄ったというのが不思議ですね。近所の方が相談に来られたというのはよくあると思いますが。</p>
事務局	<p>家が包括のすぐ近くのご夫婦でした。夫は身なりも受け答えもしっかりしていたので、近所からも相談等はなかったようです。妻の方は膝が悪かったので、あまり外に出ておらず、近所の人も状態をつかめていなかったようです。</p> <p>1人暮らしであれば民生委員による見守りや実態調査があるため、ちょっと様子がおかしいと把握できるのですが、今回は2人暮らし。網の目から漏れていた状態です。</p> <p>75歳以上の人には元気度チェックを実施。未返送であれば地域包括支援センターが訪問して確認しています。夫婦共に未返送だと戸別訪問するのですが、どちらか一方が返送されていれば訪問しないこととなります。</p> <p>短期間でぐっと落ちたような感じでしたので、どの時期から、というのは医師でも分からない状態でした。</p>
部会長	<p>引き続き頑張ってください、医療介護連携を深めていきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p><b>案件(2) 認知症対策部会平成29年度活動報告書について</b> (資料2に基づき説明)</p>
部会長	<p>1年間盛りだくさんの内容だったと思いますが、ご質問やご意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>1点質問です。「はじめに」の部分の真ん中、「認知症初期支援チームが適切に運用されているかの評価を行った」とありますが、この評価はどんな形で行われているのですか。</p>
事務局	<p>認知症初期集中支援事業として、起動したことについて、適正だったか、支援方針、内容、チーム員会議等を含めて評価していただくということです。</p>
部会長	<p>事業として評価をしないといけないのですよね。</p>

事務局	はい、そのとおりです。また、ケースへの関わりやチーム員会議といったチームの運営について、しかるべき人たちにご理解していただくような場を持ちなさい、ということが国の要綱で定められています。そういった背景もあり、在宅医療介護推進部会と併せて認知症対策部会が生まれました。
委員	チームが活動するに当たり、流れが定められていると思います。流れに沿って適正に運営されているか、という点などを評価していくことはできるのかと思います。
事務局	認知症初期集中支援チームにつきましては、要綱・マニュアルもございますので、30年度第1回目にお渡しさせていただきます。チームの実績は国にも報告しておりますので、評価指標等についてもお示しさせていただきます。
部会長	丹野さんのお話はいかがでしたか。
委員	非常にわかりやすかった。言われなかったら当事者であるとわからない感じでした。 普段の努力で、自分でノートに書いて全部チェックして仕事などをされているとのことでした。努力しているのがすごくわかる話でした。それを楽しくやっておられるような感じでした。
委員	やったことを全部ノートにつけないと分からなくなる。自分のためのすごい量のマニュアルを作成されている。とても前向きな話でした。 支えている人も、本人も、すごく大変で努力されているだろうなと思います。こういった支援があればまだまだ暮らせます、ということを前向きに明るくお話いただきました。
委員	特別扱いではないけど、職場もさりげなくフォローしているようでした。職場の理解も大きいと思う。同僚もかなり認知症の勉強をされたと思います。
事務局	元々外車の営業マン。ものすごく気配りと配慮がすごく、営業成績はトップクラスの人だったようです。現在は障害者雇用の枠を活用しながら、勤務されています。 若年性と高齢者の認知症との大きな違いとして感じたことは、スマホに慣れておられること。スマホでずっと写真を撮り、記録され、短期記憶を画面を通して確認されていました。
事務局	新年に出勤され、上司の顔も、自分の机もわからない状態だったそうです。 細かくメモするノートと年間の計画ノート。2冊を活用して仕事をされており、今ではそのノートを同僚たちも使っているとのことでした。
事務局	自分が発信者にならないと世の中を変えられないと考えられている。まだ仕事もされており、休みの日などに講演活動。ほとんど休みなく活動されています。 講演会終了後に本人ミーティングを開催しましたが、彼がファシリテーターをしてくれました。初めて会う当事者の方々を相手にして、見事でした。

部会長	<p>この報告は次回の医療介護連携ネットワーク協議会で報告することになりますね。</p>
事務局	<p>案件(3) 認知症対策部会平成 30 年度の計画について (資料 3 に基づき説明) 意見交換会：平成 30 年度の認知症対策部会の活動について</p>
部会長	<p>図書館やカフェを利用した本人・家族が集えるような場を作れば。 先ほどの報告にあった本人ミーティングのような。図書館でもコーヒーを飲めるようにしていただければありがたい。非常にリラックスできる。</p> <p>また、小中学生の啓発ももちろんですが、サロン等で高齢者対象として啓発するなど。医師会も出前講座をやっていますが、高齢者が高齢者をサポートする、といった意味合いで、認知症サポーター養成講座をやればどうでしょう。元気な高齢者が多く参加されている。そういう人たちが認識を持って、いずれなる可能性のある病気であることを理解していただければどうかと思います。</p>
委員	<p>認知症に関する研修会。いくつかあって参加させていただきました。非常に良かったが、なかなか時間が合わないこともある。</p> <p>もっと小規模でも良いので、参加しやすいようになればありがたい。ターゲット別でも良いと思う。認知症になりそうと思っている人向け、施設職員向け、今後携わってくれそうな学生向け、一般向け、医療福祉系の学生向け、などターゲットを絞ってはいかがか。</p> <p>私は生駒市民じゃないので情報が入っていなかったが、委員として関わっていく中で、生駒市すごいなというのがだんだん分かってきた。</p> <p>市民でもわかっていない人はいっぱいいると思う。ターゲットを絞って軽い感じの研修会ができれば面白いのかなと。学生などであれば、生駒で働きたいという気持ちも生まれるのではないかな。</p> <p>また、今年度グループホームを見学させていただいた。看板は見たことあったけど、中まで見させていただいてイメージが湧いた。</p> <p>生駒市の様々な社会資源の紹介があれば、一般の人でも将来安心と思ってもらえるのではないかな。受け皿がいっぱいあるということを知ってもらいたい。一般的には施設は入りにくい、と思われているので。</p> <p>また、施設紹介のポスター発表のようなものができれば。研修会をやる度に使いまわせるかと。見学に行った際の感想も触れるなど。せっかく行きましたし、何かできればと思いますね。</p>
部会長	<p>事業所のパンフレットを研修会の会場で置いておくより効果があるかも知れませんがね。</p>
委員	<p>窓口で「この人認知症状あるかも」という人が来られた場合に渡しやすいような資料があればありがたい。ケアパスやチェックリスト使っていますが、この人にこれ渡したらダイレクト過ぎじゃないかな、ということもある。もう少ししやんわりした表現のものが欲しい。</p>

委員	<p>早期の人に渡せたら受診してもらえる機会も増えるかも、と思っている。一度ここ行ってみたら、と勧めることができるような医療機関のマップがあれば助かる。</p> <p>体験談を話していただくということは、非常にインパクトのあること。実際に当事者さんの話を聞く機会があれば良い。</p> <p>まずこういう症状が出始めて、こういうところに困る、こういうところではできるよ、といったような体験を。残っている機能でこんな生活ができるよ、という話はとても心強い。症状が出始めた人たちの困りごとが分かりやすく、補助の仕方が分かりやすくなれば。</p> <p>また、家族向けのものもあれば。症状出てきたな、と思ってもなかなか本人認めないことは多い。受診につなげた成功談があれば聞かせていただきたいなと思います。</p>
委員	<p>昨年度作成したケアパスは、相談先等も充実しており、専門職が見ても良く分かる。相談の次の段階として、社会資源どういう施設があるか等、先の部分についても分かりやすいものがあればありがたい。</p> <p>また、関わるにしても大ごとになると本人たちは引いていく。できるだけ少人数、1人で関わることも多いが、支援に行き詰ることもある。</p> <p>そんなときにはこうやったらうまくいったよ。誰に協力を得たらうまくいったよ、というような事例集・冊子があるとすごく助かるかと思う。</p> <p>自分のところが苦手な部分について事業所同士で相談したりするなどして実際に連携していることもあるが、市内の事業所ネットワーク、もう少しあっても良いのかと思った。</p>
委員	<p>本人向けと家族向けといった視点で考えた。</p> <p>本人について、ほんとの初期のとき、「心配事があればここに」というような簡単な相談ができる場所があれば。</p> <p>認知症の講演会などを見ても、30~40代の人々があまり参加されておらず、ひとごと。その辺の層に対して啓発できればと思う。</p> <p>図書館で何らか取り組みができれば良いな、と思った。</p>
委員	<p>歯科医にも認知症の人は来られることはある。それぞれ対応の勉強をしているが、互いに自分たちの対応について話し合うような場を作ったら、お互いの理解が深まると思う。研修を受けることも重要であるが、自分たちでどういう対応をしたか、を積み重ねれば違うのではないかと思う。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>簡単なチラシについて。インパクトのあるもので、とにかく連絡先を認識していただければというご意見。行き詰ったときに成功事例のような事例集があれば、共有して使えるのではないかというご意見。</p> <p>また、ポスター発表について。武蔵野市ではケアリンピックというのがあり、ケアに携わる色んな人が集まる大会を実施している。平成30年は12月上旬に実施予定。地域住民の人に社会資源を紹介し、医療介護関係者は事例発表で参加している。在宅医療介護推進部会と連携し、将来的にできればと思う。専門職の質が上がると思う。</p>

	<p>ケアパスについては、まとまっていて良いが、初期の人には渡しにくい。そこがネックとなっているとのことでした。こちらも今後検討できれば。</p> <p>小中学生新オレンジプラン。学校も地域連携を求められている。子どもを対象として実施することでPTAにつながるなどできれば、学校教育から発信してもらうのも一つかと考える。</p> <p>今年度「認知症にやさしい図書館」という講演会を筑波大学の呑海先生をお招きして開催した。男性は図書館に集合しやすい。図書館の職員が認知症を理解することで専門職につなぐ、などということも重要。認知症に関するコーナーを設置したりしていただいている。</p> <p>たくさんのご意見、アイデアをいただいた。 30年度の活動計画に盛り込んで行きたい。部会でできることも限られているため、優先的に取り組んでいくことをまとめていけば良いなと思いました。</p> <p>成功事例を聞きたいというご意見多かった。 部会として先行事例まとめていくということであれば、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどから事例を照会して集めることができると思います。 回答いただいて、家族向け、本人向けといったようなカテゴリにわけてまとめ、冊子にできるのではないかと思います。</p>
委員	<p>ご家族にインタビューなどもできれば良いですね。</p>
事務局	<p>挙げてみてあまりにも偏りがあるようであれば、三師会にも依頼するという方法もあります。</p> <p>また、資源に関する市民への紹介については、市のホームページ上に、どこにどのようなサービスがあるかといったような医療・介護の資源情報を掲載し、スマホやパソコンから検索できるようになります。 これは、昨年度医師会で作成していただいた資源集の冊子をデータ化したものとなります。</p>
部会長	<p>ご意見ありがとうございました。 いただいたご意見を実現できるよう30年度やっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
事務局	<p><b>案件(4) その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療介護連携に係る相談窓口の設置に関するチラシの配付 一般市民ではなく、医療介護の専門職が相談する相談窓口を設置します。</li> <li>・次回の日程</li> </ul>